

「言語文化」	教科	国語	単位数	2単位
	学科、学年、組	全科、	1学年、	全組
使用教科書	「新編言語文化」(東京書籍)			
副教材等	「改訂版漢字検定7～2級対応書きたくなるアシスト常用漢字」(数研出版)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容	観点の割合	評価方法
知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	30%	定期考査 課題の提出状況
思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	40%	定期考査
主体的に学習に取り組む態度 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	30%	授業への取り組み 課題の提出状況

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の力 古文への扉「絵仏師良秀」 想像がひらく世界「羅生門」 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の力について、自ら具体的に考えてまとめる。 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。
2	<ul style="list-style-type: none"> 人間の普遍的な姿「伊勢物語」 自分という他者「土佐日記」 	<ul style="list-style-type: none"> 物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 背景を考えながら作品の視点を解釈する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 漢語の特色「守株」「推敲」 読み継がれることば「論語」 漢詩「訳詩を描く」 	<ul style="list-style-type: none"> 孤児性との元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。